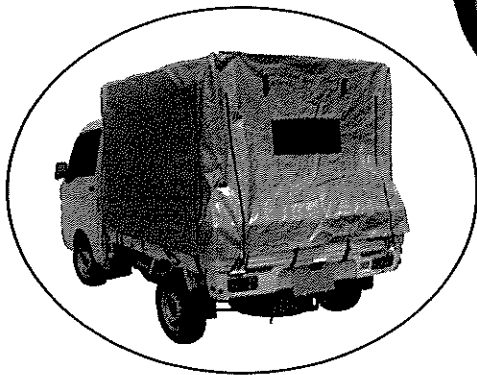


軽トラック幌セット

KH-7

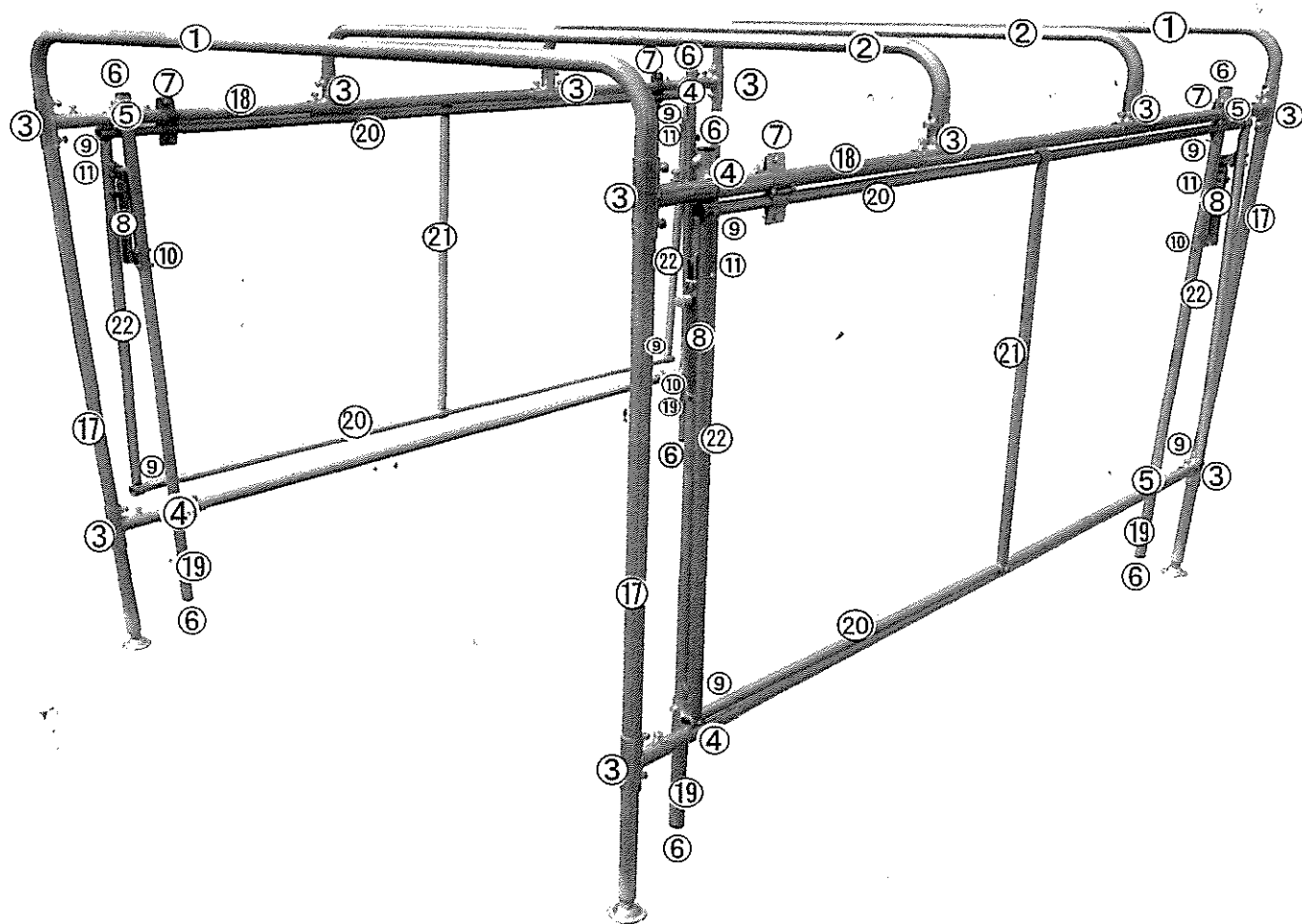


保存

【1710】

軽トラック幌セット KH-7

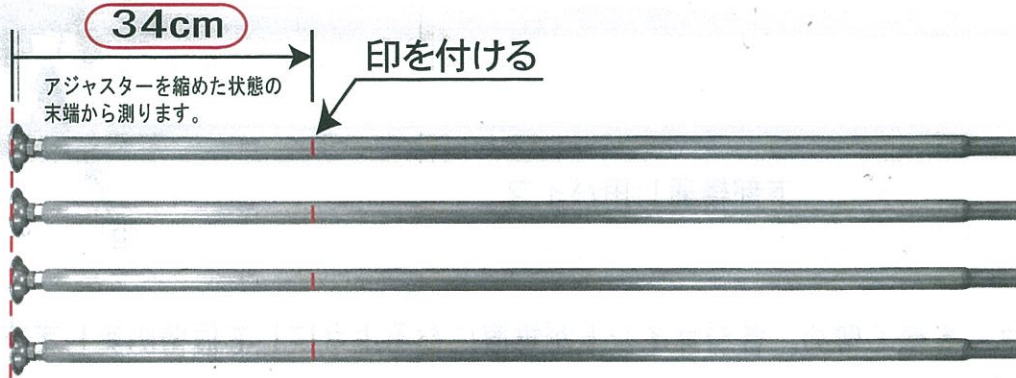
パイプ骨組部品構成図解



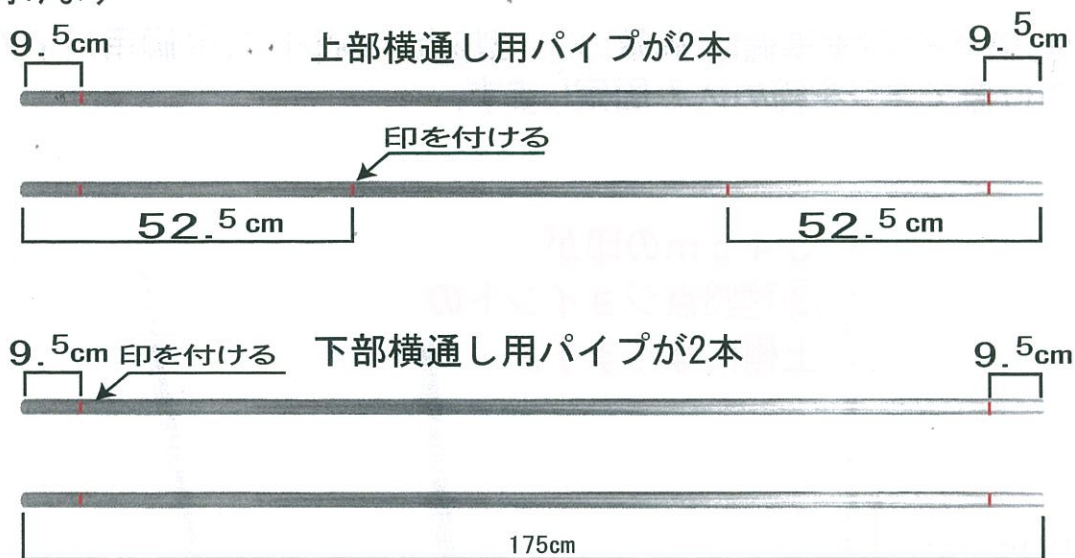
※ 構成の目安です。本商品の組み立ては、
『部材表』・『組立説明書』の手順を
参考に行ってください。

1 脚用パイプと横通しパイプに印を付けます。

- ⑰脚用パイプを4本準備します。③T型3点ジョイントを取付ける位置の印を付けます。

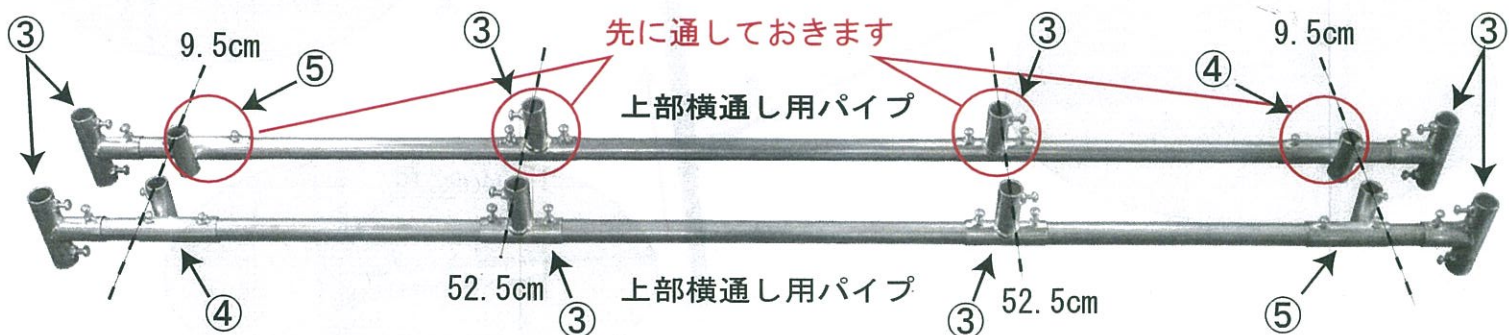


- ⑱横通し用パイプ4本に、④⑤T型3点ジョイント、③T型3点ジョイントを取付ける位置の印を付けます



2 上部横通し用パイプを組立てます。

- 52.5cmの印付き⑱横通し用パイプを2本、③T型3点ジョイント8個、④T型ジョイント2個、⑤T型ジョイント2個を準備します。⑱横通しパイプに、③・④・⑤T型ジョイントを取付けます。



※各ジョイントのネジを軽く留め、各ジョイントが垂直になるようにして仮留めをします。

3 下部横通し用パイプを組立てます。

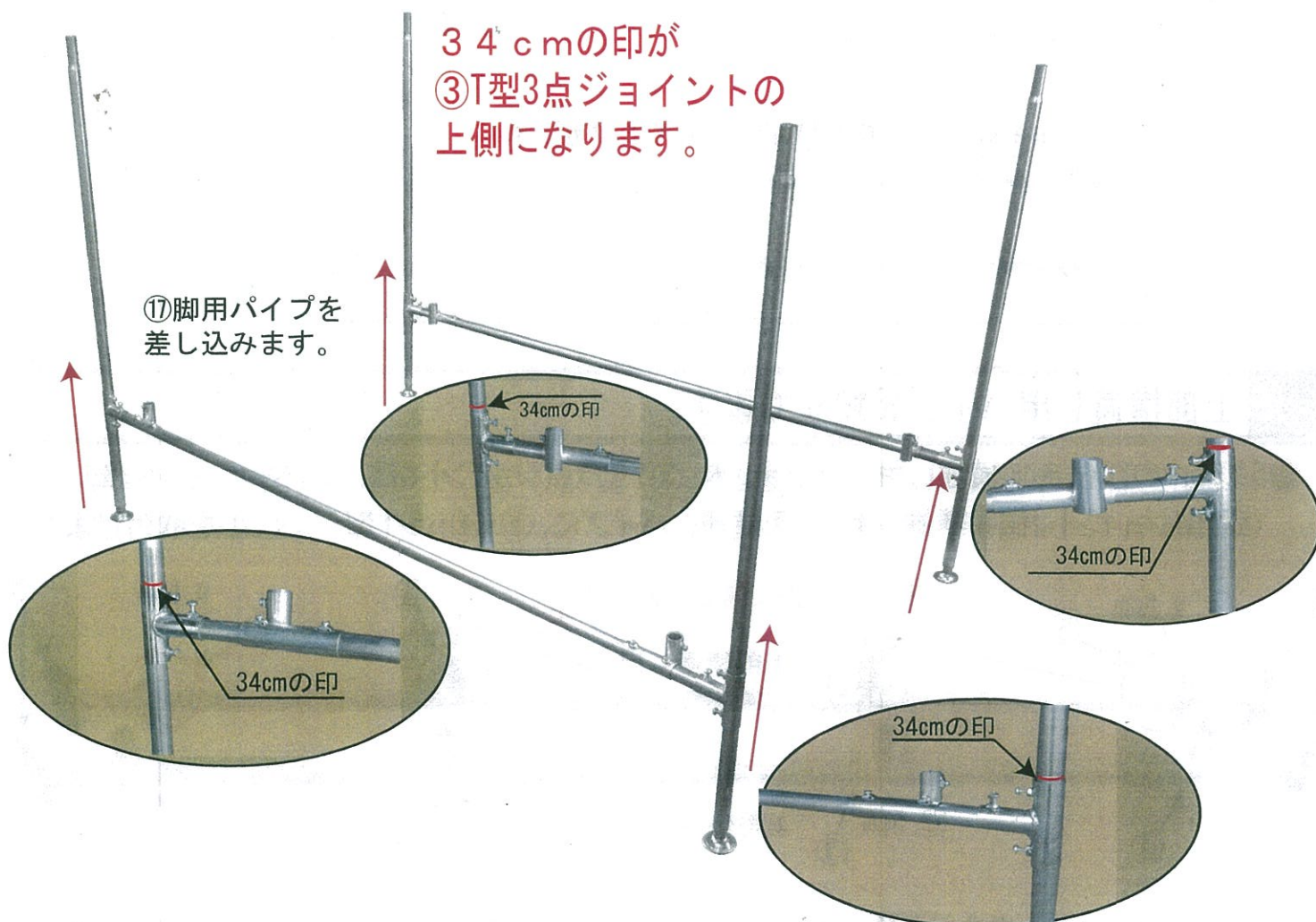
- ⑱横通し用パイプを2本、③T型3点ジョイント4個、④T型ジョイント2個、⑤T型ジョイント2個を準備します。⑱横通しパイプに、③・④・⑤T型ジョイントを取付けます。



※各ジョイントのネジを軽く留め、各ジョイントが垂直になるようにして仮留めをします。

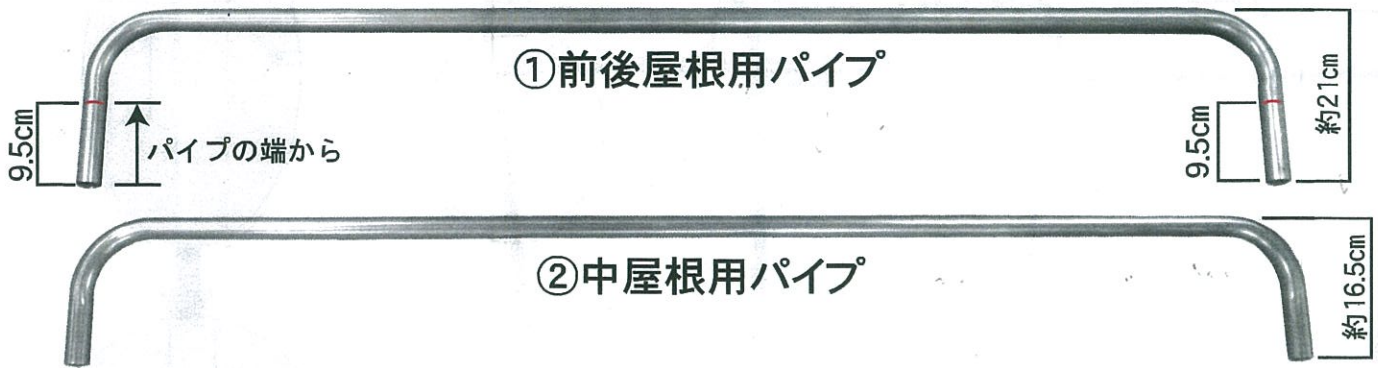
4 脚用パイプと下部横通し用パイプを組立てます。

- 下部横通し用パイプ2本準備し、両端の③T型3点ジョイントに、⑰脚用パイプを差し込み、印の位置でネジを締め込み固定します。



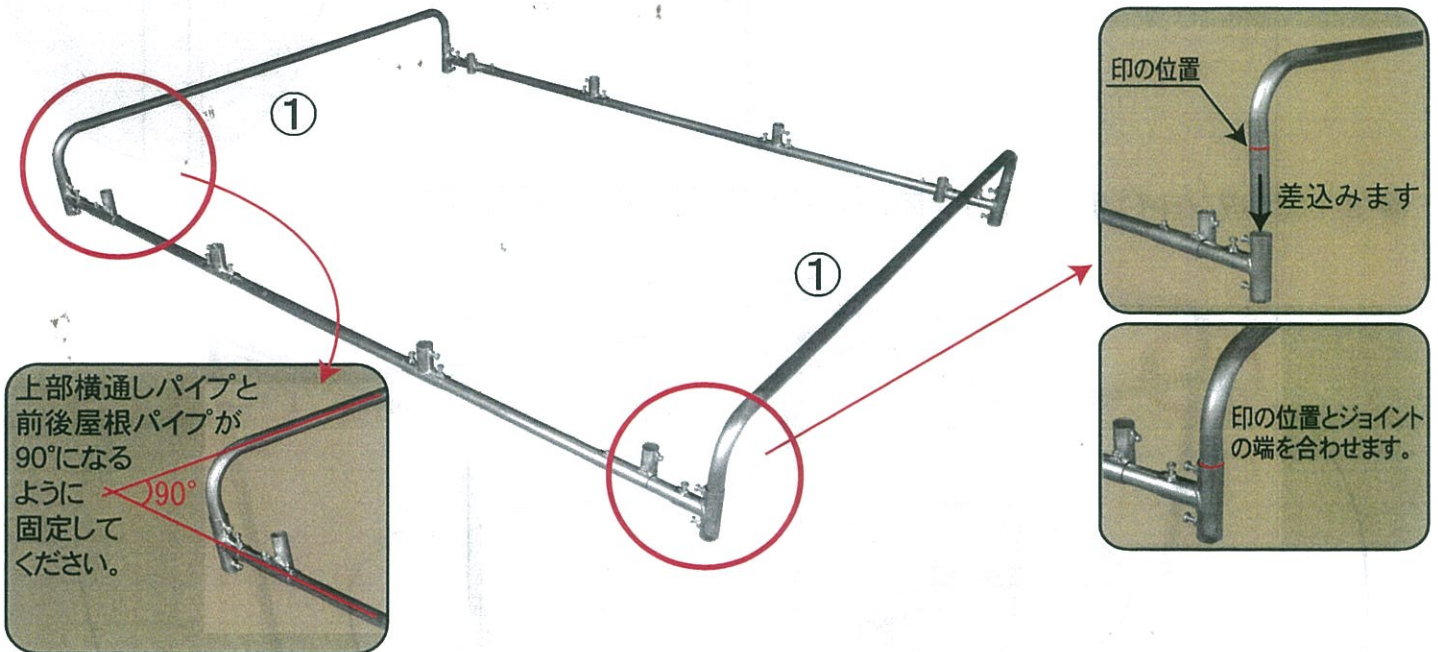
5 屋根部分を組立てます。

- ①前後屋根用パイプ2本、②中屋根用パイプ2本を準備し、①前後屋根用パイプにパイプ末端から、9.5cmの位置に印を付けます。

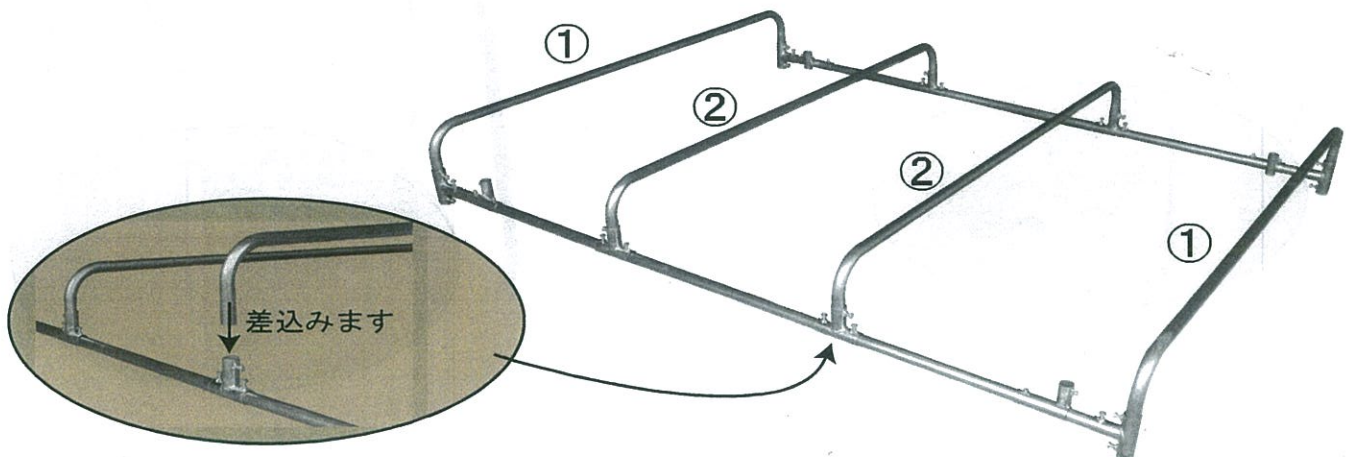


※長さが異なりますので、ご注意ください。

- ①前後屋根用パイプ2本、②中屋根用パイプ2本、上部横通し用パイプ2本を準備し①前後屋根用パイプを上部横通し用パイプ端部の③T型3点ジョイントに印の位置まで差込み、ネジを締め込み固定します。

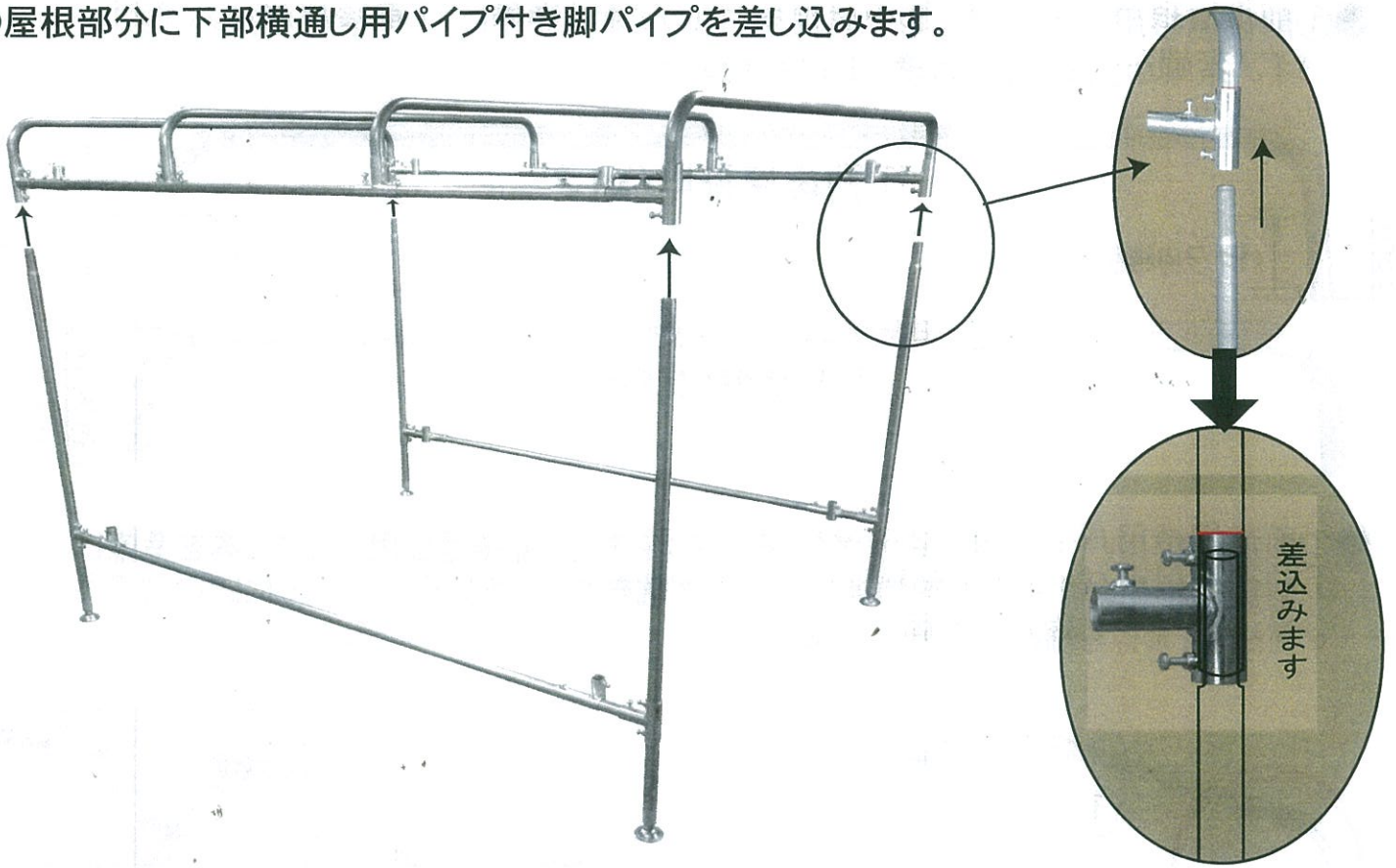


- ①中屋根用パイプを上部横通し用パイプの残りの③T型3点ジョイントに差込みます。ネジを締め込み固定します。

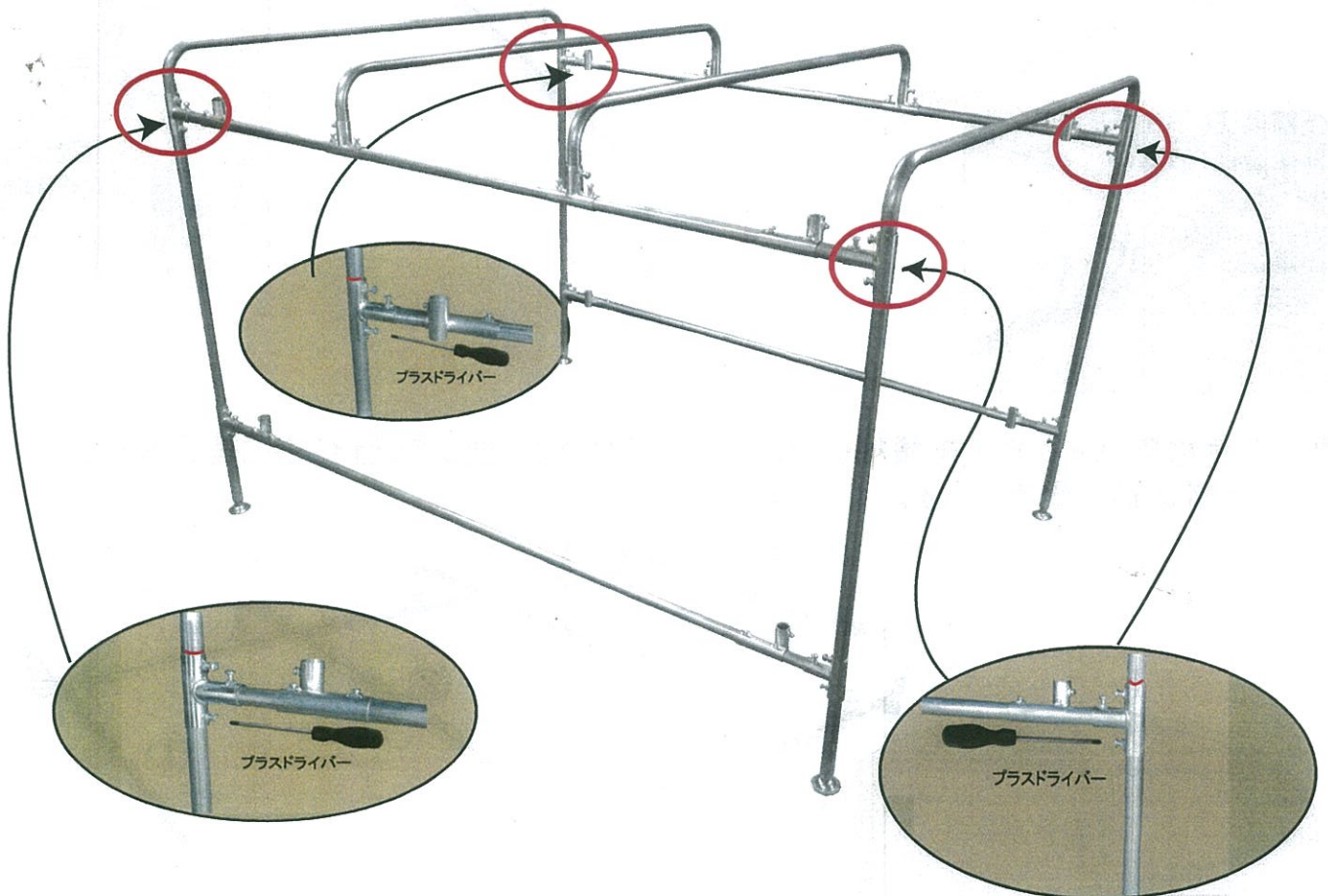


6 屋根部分と脚パイプを組立てます。

●屋根部分に下部横通し用パイプ付き脚パイプを差し込みます。

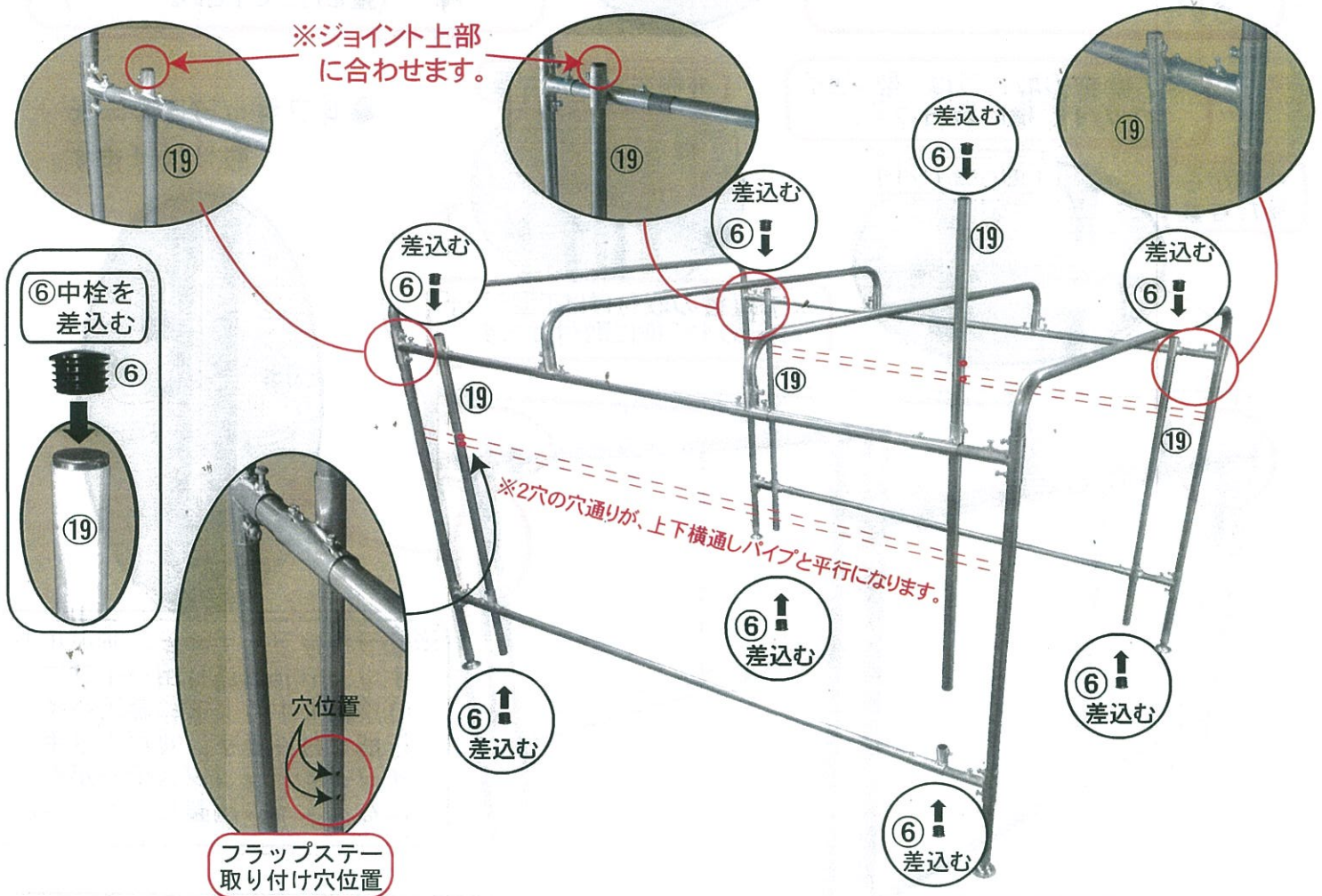


●③T型3点ジョイントの、上下2箇所のネジを締め込み固定します。



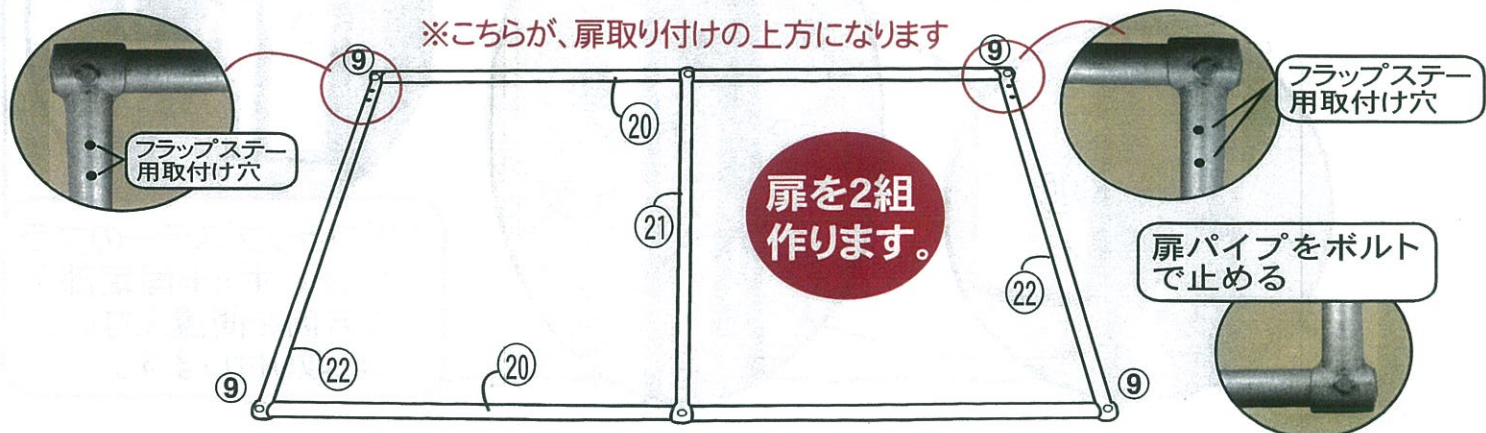
7 戸当り用パイプを取付けます。

- ⑱戸当り用パイプを4本準備し、上下横通し用パイプの④⑤T型ジョイントに差込みます。
 - ・フラップステー取り付け穴(2穴)の位置は、上の方で、穴の通り方向は、上下横通し用パイプに平行するように調整します。
 - ・⑱戸当り用パイプの上部末端を④⑤T型ジョイントの差込パイプ上部に合わせ、ジョイントのネジを締め込み固定します。
 - ・⑥中栓を⑱戸当り用パイプの上下に取付けます。



8 扉を組立てます。

- ⑳扉用パイプを4本、㉑扉用パイプを2本、㉒扉用パイプを4本、⑨扉用ボルト・ナット12組を準備します。フラップステー取り付け穴の位置を確認しながら、扉を2枚作ります。

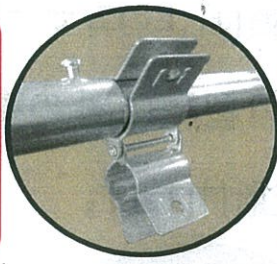


9 扉を取り付け、フラップステー(扉開閉用金具)を取り付けます。

●⑦蝶番を4個、⑧フラップステーを4本、⑩・⑪のボルトナットを各8組づつ準備します。

●⑦蝶番で扉を取り付けます。

※蝶番にパイプサイズの刻印があります。取り付けるパイプサイズや、稼動領域(扉が外に開く)を確認して取付けてください。



内側 外側



左図のように蝶番のボルト部が垂直になるように取り付ける。
(ボルトは仮締めにして扉がきれいに閉まるように微調整を行ってください。)

※⑦蝶番の取付けはT型ジョイントのすぐ横に取付ける。

外側から見た写真

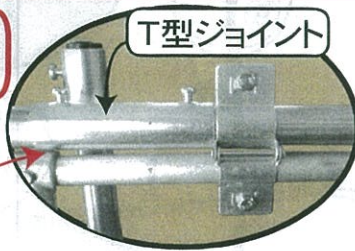


⑦蝶番

扉

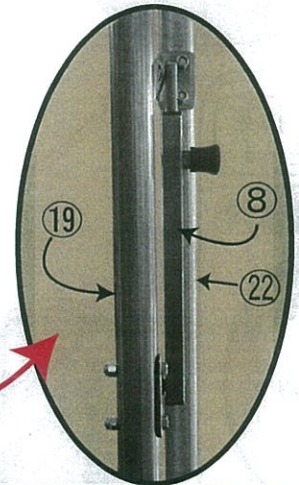
※⑦蝶番の取付けはT型ジョイントのすぐ横に取付けます。

外側から見た写真



T型ジョイント

●⑧フラップステーを取り付けます。



19

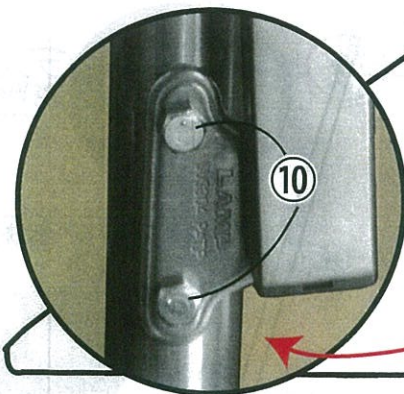
8

22

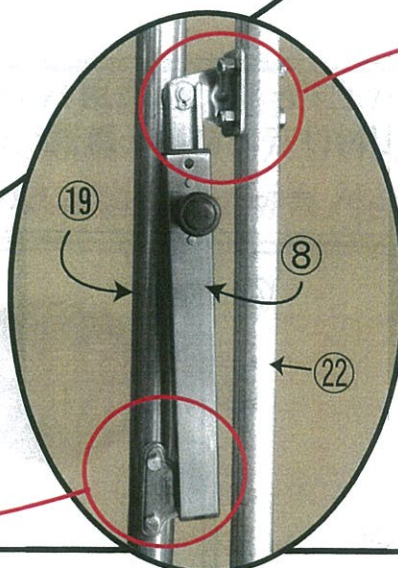
※⑧フラップステーを、⑩ボルトナットで①⑨戸当り用パイプに。①⑪ボルトナットで②②扉用パイプに取り付けます。①⑨戸当り用パイプと⑧フラップステーが平行になるように調整してください。

※骨組組立の仕上げに各部品のネジをしっかり締め込み、緩みが無いか確認してください。

※各ネジの取付けについて。



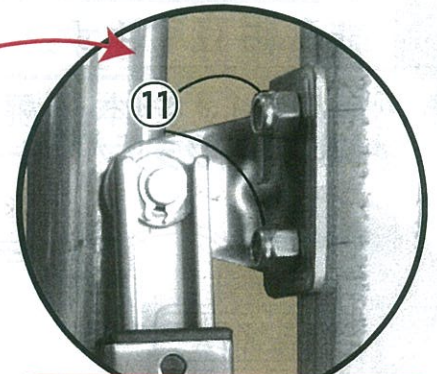
10



19

8

22

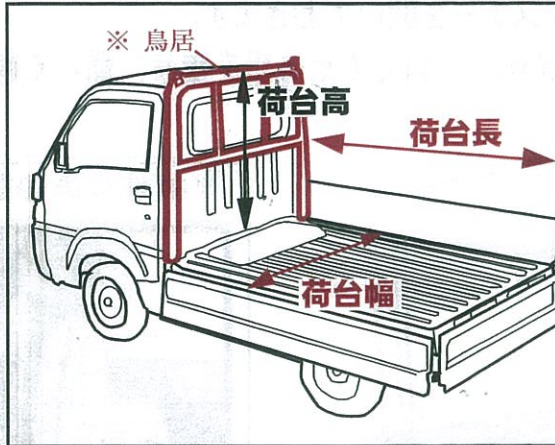
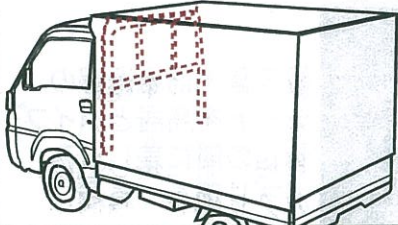


11

※⑧フラップステーのブラケット(ボルト固定部)の方向を間違えないように取り付けます。

10 脚パイプのアジャスターを各車の目安幅に調整します。

※ 幌の取り付けについて。
幌の取り付けは、軽トラック鳥居部を包み込み、キャビン屋根部に密着させるように取り付けます。



各メーカーの軽トラックは、
荷台幅 1410mm
荷台長 1940mm※1、で共通。
(※1 荷台長は、年代、メーカーによって、1920mm~1940mmと違いがありますが当社の幌取り付けには、問題はありません。)
荷台高が各社で違いがあります。

※鳥居と呼ばれる、(左図の赤線部分)長物の品物を載せたり、ロープで引っ掛け固定させたりする部分が、各メーカーにより違いがあります。

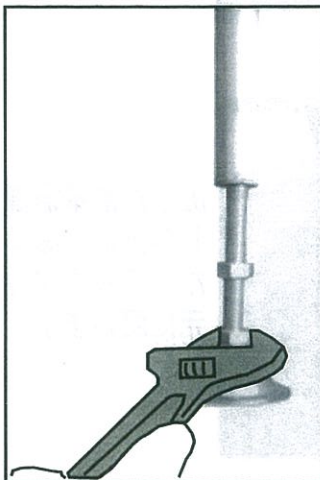
● アジャスターを仮調整します。 ※ハイルーフ・ジャンボ(グランドキャブ)は対象外になります。

高さ調整アジャスターの目安幅

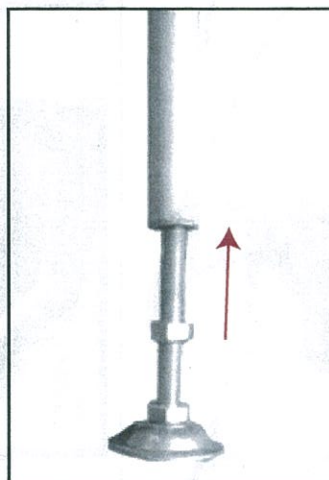
※ 2014年12月新車販売比較

	ダイハツ ハイゼット 約3.5cm	ホンダ アクティ 約0cm	スバル サンバー 約3.5cm
	スズキ キャリイ 約3cm	日産 クリッパー 約3cm	三菱 ミニキャブ 約4.5cm
	マツダ スクラム 約3cm	トヨタ ピクサス 約3.5cm	目安幅ですので、各車に応じて、 設置後の最終調整が必要です。

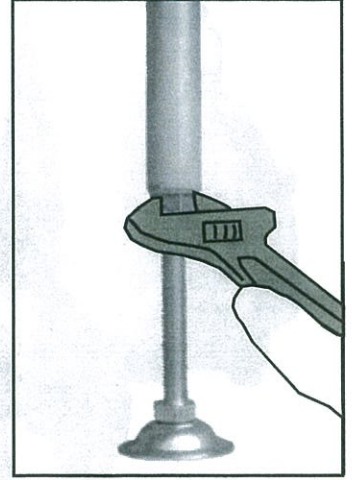
一、下ナットを回し、アジャスターを引き出します。



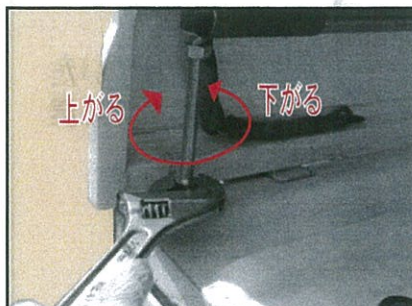
二、引き出された上ナットは、上に移動します。



三、上ナットと下ナットの間隔(目安幅)を図り、ナットを締め、仮固定します。



※幌幕を設置後、鳥居の幕カブリ具合に合わせ、微調整してください。



高さ調整は、アジャスター下ナットです。右回して、幌セットが上がります。左回して、幌セットが下がります。



アジャスター上ナットは、固定用になります。高さ調整の際は、緩めて作業してください。

11 軽トラックにパイプ骨組を乗せ、幌天幕を被せます。

- ⑯幌天幕を準備し、全ファスナーを開いておきます。
- 軽トラック後ろのアオリを倒し、組立てた骨組を乗せ、開いた幌天幕を被せていきます。



● パイプ骨組を乗せます。

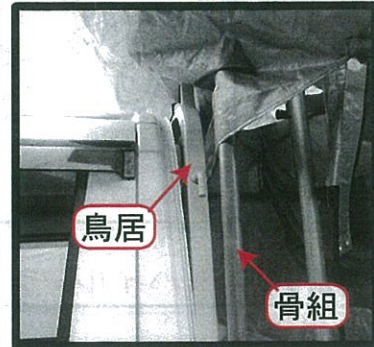


● 幌天幕を被せます。

注意

- ※この幌を使用時は必ずトラックマットを使用して下さい。
- ※トラックマットは別売になります。
- ※前方から入ってくる雨水を荷台とトラックマットの間を流すようにして下さい。

※被せた後の調整



幌天幕の前幕裾部のシートを鳥居とパイプ骨組の間に差し込み、カブリ部を、鳥居に被せます。



パイプ骨組を、後ろに移動し、トラックマットをめくりあげ、前幕裾部のシートを広げます。



広げた前幕裾部のシートの上に、めくっていたトラックマットを、元に戻します。



後ろに移動していたパイプ骨組を元に戻します。

12 パイプ骨組を軽トラックに固定し、幌天幕を結びつけていきます。

- ⑬固定用ロープ8本、⑭絞りクリップ2個、⑮ケーブルタイ10本を準備します。



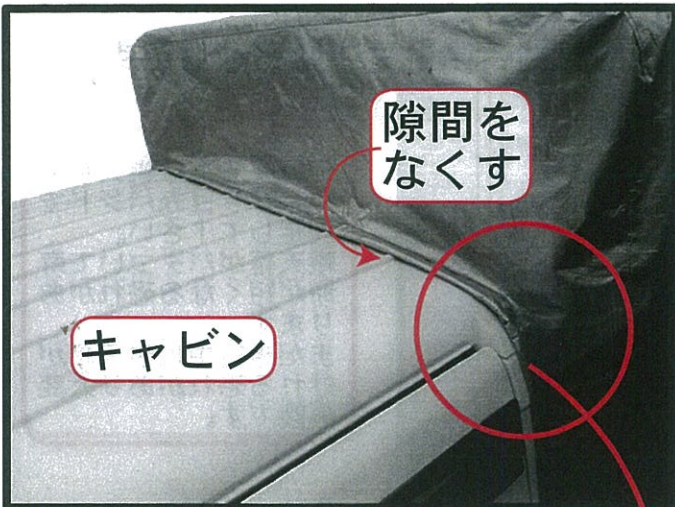
- パイプ骨組を⑬固定用ロープで、アオリのフック8箇所結びつけしっかりと固定します。



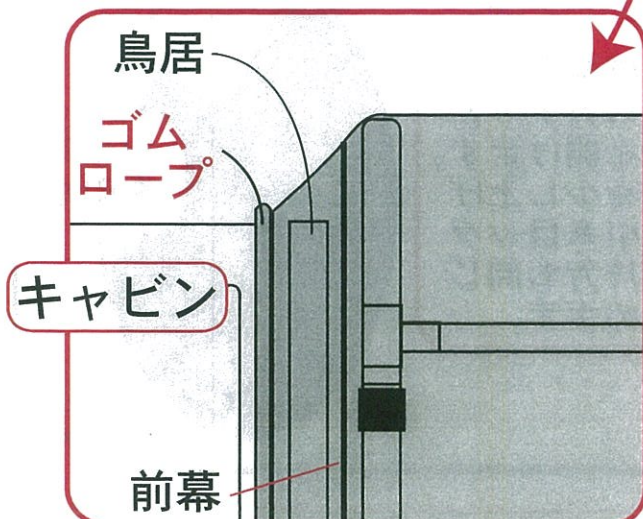
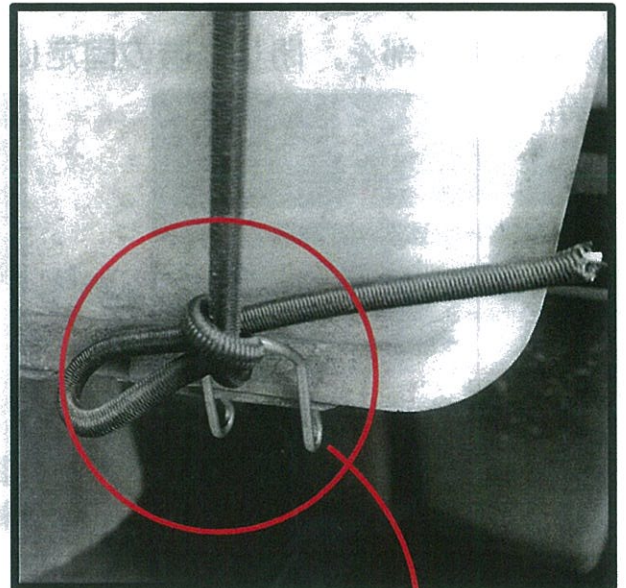
- 幌天幕に取付けられている紐を、パイプ骨組に結び付け固定します。



- パイプ骨組横部の扉用パイプに、⑮ケーブルタイで、幌幕を固定します。



- 前幕カブリ部を、キャビンの溝に合わせ込み、キャビンと幕の間に、隙間が出来ないように合わせ付けます。(車種により、溝の形状が異なります)



(キャビンに直接絞り込んだ状態)

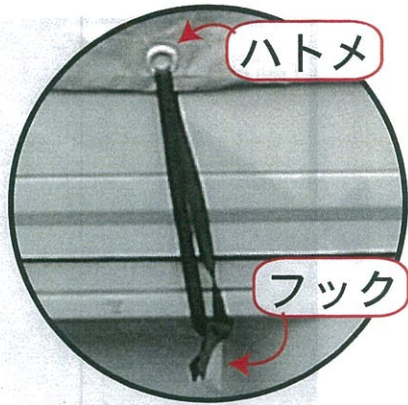
【手順】

- (1) ⑭絞りクリップを、キャビン下部に引っ掛けます。
- (2) 片方の⑭絞りクリップにゴムロープを結び付け、キャビン下部に引っ掛けます。
- (3) ⑭絞りリングを結び付けていない側のゴムロープを引っ張り、幕全体を絞り込みます。この時、絞り込んだ部分が、キャビンの溝に、はまり込むように調整し、幌幕とキャビンの設置面に隙間が出来ないようにします。その後、⑭絞りクリップに縛りつけ固定します。

(2) ゴムロープを⑭に結びつける。

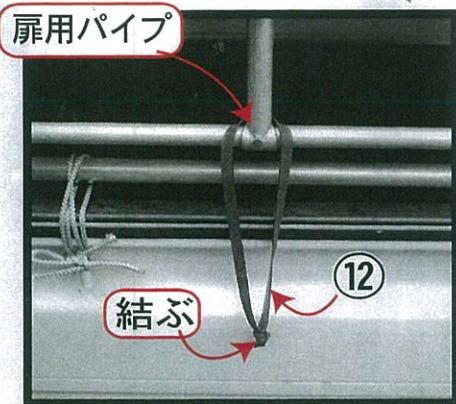
13 固定用ゴムバンドで、幌天幕を車体に固定してください。

●⑫固定用ゴムバンド24本準備します。

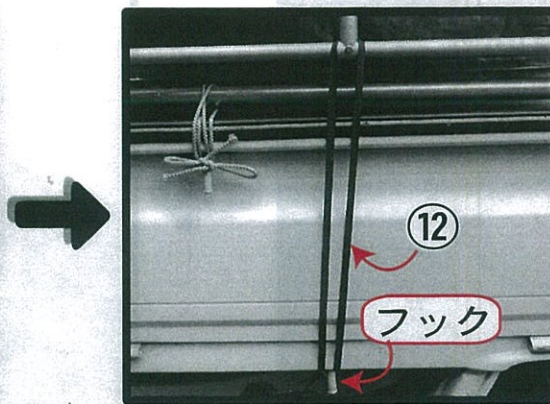


●⑫固定用ゴムバンドを幌天幕のハトメに通し輪を作り車体のフックに引っ掛けます。

※幌幕横扉部を、閉じた時の固定になります。開く場合は引っ掛けを外します。



●⑫固定用ゴムバンドを扉パイプに結び付けます。



●⑫固定用ゴムバンドを車体のフックに引っ掛けます。

注意

走行する際は幌天幕をしっかりゴムバンドで固定して下さい。幌天幕がバタついて寿命が短くなる恐れがあります。また走行中に幌天幕が外れる恐れがあり大変危険です。

扉を開ける



フラップステー開閉方法

扉を開ける時には両方のフラップステーからカチッと音がするまで扉を開けます。閉める時には扉を少し上げ片方のツマミを引きロックを解除し、もう片方も同じ用に解除して閉めます。

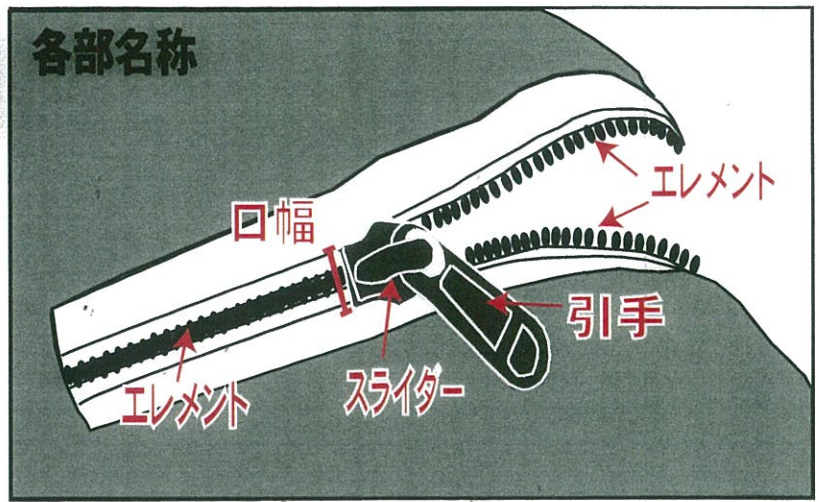
扉を閉める



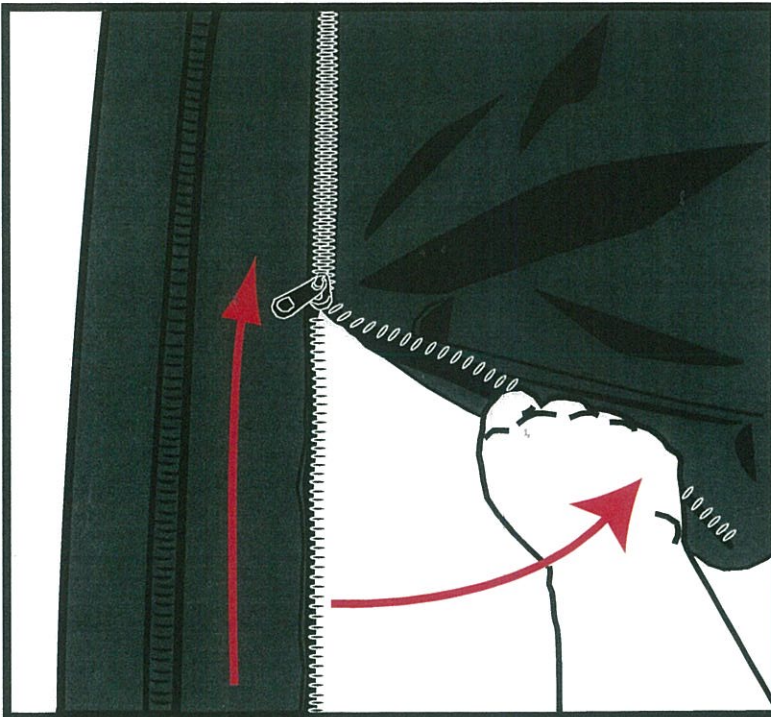
ファスナーの取扱いに

ファスナーの開閉につきましては必ず、引手を持ってスライダーを動かして行ってください。

各部名称



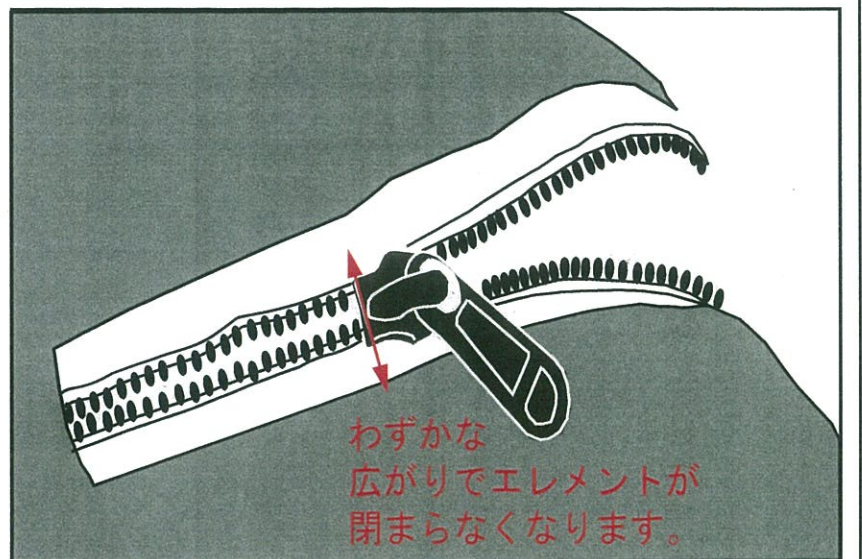
ファスナー開閉でおこなってはいけない行為



幕生地を持ち、引っ張るように広げて、ファスナーを移動する行為は、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品ですが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、口幅が広がっていきます。また、分解のおそれもあります。

スライダーの口幅が広がってしまい、スライダーによる左右ELEMENTの押さえが効かなくなります。ELEMENTがかみ合わなくなり、ファスナーが閉まりきらない状態です。



※ファスナー周辺の、小さいゴミ、泥等の付着はお気をつけください。

※金属スライダー部は、定期的な油さしをオススメします。

※裏面の「安全上の注意」を先にお読みになり正しく使用してください。

※組立前にケース内容を確認してください。

【骨組寸法】

間口:約137cm

奥行:約181cm

保存

【1710】

軽トラック幌KH-7 部材表

NO.	品名	規格	数量	形状	NO.	品名	規格	数量	形状
A セット					B セット				
①	前後屋根用パイプ	25×167 mm cm	2		⑫	固定用ゴムバンド	60cm	24	
②	中屋根用パイプ	25×157 mm cm	2		⑬	固定用ロープ	4×100 mm cm	8	
③	T型3点ジョイント	25用	12		⑭	絞りクリップ		2	
④	T型ジョイント	28×25	4		⑮	ケーブルタイ	200mm 黒	12	
⑤	T型ジョイント	28×25	4		⑯	幌天幕	KH-7 KH-1814兼用	1	
⑥	中柱	22用	8		⑰	脚用パイプ	25×113(S) mm cm	4	
⑦	蝶番	25×19	4		⑱	横通し用パイプ	25×175 mm cm	4	
⑧	フラップステー	LSP-270B	4		⑲	戸当り用パイプ	22×110(HH) mm cm	4	
⑨	扉用ボルトナット	M5×25 mm mm	12		⑳	扉用パイプ①	19×160 mm cm	4	
⑩	ボルトナット①	M4×30 mm mm	8		㉑	扉用パイプ②	19×80 mm cm	2	
⑪	ボルトナット②	M4×25 mm mm	8		㉒	扉用パイプ③	19×80(HH) mm cm	4	

準備する
工具



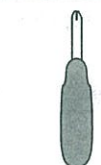
スパナ (部品取付)



スパナ (部品取付)



スパナ (部品取付)



プラスドライバー (部品取付)



ハンマー (部品取付)



マジック (パイプ印用)



手袋 (組立作業)



ハサミ (ロープカット用)



メジャー (寸法計測用)

○印の方を使用する

※シートは張り替え用があります、販売店にお問い合わせ下さい。



製造発売元 南榮工業株式会社

〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025

TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

この商品を安全に正しく使用して頂く為に、組立られる前、また使用される前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解して頂き正しくご使用下さい。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- 表示の意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをした時、人が死亡または、重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをした時、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。



警告

- ◇使用前には、フレームとシートの点検を必ず行って下さい。(フレームの変形、シートの破れキズ、各部品のネジ・ボルトの緩み等)
- ◇フレームが破損した場合は、非常に危険ですので使用を中止して、当製品をお買い上げになった販売店にて、交換部材等をお買い求めになり、正しく取付けられた後、安全を確認してから使用して下さい。
- ◇走行中の外れ等、万が一の危険を想定して荷台への固定等は確実にしっかり行って下さい。
- ◇風対策としてのフレームと荷台の固定を別途行って頂きます様お勧めします。
- ◇強風・あるいは降雪が予想される時は、使用を中止してフレームとシートを取り外して別途保管して下さい。
- ◇フレームの上に載ったり、過重がかかるような使用は絶対に行わないで下さい。



注意

- ◇フレームに物を掛けたり、ぶらさがらないで下さい。
(特に子供さんには十分注意をして下さい。)
- ◇軽トラック幌本来の機能(荷台への雨・風・日光よけ)以外で使用しないで下さい。
- ◆組み立て・シート取付け等の作業には十分に安全を確認して下さい。
- ◆**時速80km以上(高速道路)の走行は危険ですので止めて下さい。**
- ◇ **ゴムバンド取扱い上の注意**
 1. ゴムの中に含まれている油分の浸透により、色移りする場合がありますので、使用時には養生等を行なって下さい。
 2. ゴムバンドを使用する際は、跳ね返りやゴムが切れる場合がありますので、引張る直線上に人がいないように注意して使用下さい。
 3. ゴム表面にひび割れやキズ等が発生した場合は、使用を避けて下さい。
 4. 高温の場合での使用は避けて下さい。
 5. 伸張力を最大に伸ばして使用の場合、風圧等で切れる場合がありますのでよく確認をしてから使用して下さい。

この組立説明書及び『安全上のご注意』は、事故防止と部品交換時の為に大切に保管して下さい。